

Tudo bem? ブラジルより

学校教育課 島内三都子

★クリチバから。到着して2週間になろうとしています。ここは標高が高いため、「灼熱のブラジル」というイメージとは程遠い気候です。日本の11月ぐらい？長袖の重ね着3枚で過ごす毎日です。おまけに、曇りやら雨やらと、どうもはっきりしない天気の日が続いています。

困ってます!!~『子どもを守る法律』に守られる現実

「ブラジルでも困っていることがあるんです。」パラナ州教育局学校法律課を訪問したときの話題です。過保護の親が多く、学校への苦情が絶えない現状に、先生たちは困惑しているようで、11階にやってくる保護者の姿が重なりました。もちろん学校にも…

「過保護」のバックには、子どもを守る多くの法律(1冊の本になっています:右)があり、例えば「親は子どものお尻をたたいてはいけない」といった内容がいくつも書かれています。成績不振で呼び出しても、授業参観を行っても学校に来ない親が、教員が子どもの肩に手をかけただけで「何してくれる!」と怒ってくるという話も聞きました。

う~ん、だからか~!豊橋の学校現場が頭に浮かびました。驚くというより、「落ちた」気がします。……ということなんです。



ブラジル文化の“へ~、そうなんだ!”

- ③ 「トイレトペーパーを流せない」 ② 「ブラジルはデブに優しすぎる」
① 「ブラジル人はお尻が好きすぎる」 (いずれもテレビそのままの表現です)

上記は、9月6日放映の『世界の果てまでイッテQ』で取り上げられた“イモトが思う不思議なブラジル文化ベスト3”です。その実地調査を進めました。

調査③: 確かに気をつけてみると、トイレに置かれた容器はゴミ箱風でかなりでかい。ブラジルのペーパーは水に溶けにくいいため、ホテルやレストランでも「ゴミ箱」に捨てるのがルールなんです。意識しているつもりでも、あっ!習慣とはおそろしく、ついつい「ごめんなさい」てなことになってしまいます。

調査①: 「キュッ、ボン、キュッ、ボンがこちらの理想的な体型です。」と通訳の坂本さん。?なるほど!2つ目の「ボン」ですね。店先で、お尻の形ができていGパンを見て納得です。何でもこちらの男性の女性の決め手はお尻が80%だそう。ちなみに2位は脚で10%、顔はたったの5%ですって。へ~っ。



調査②: 公共交通機関や学校などで肥満用の席を設置することが、法律で定められているそうです。街中で見かけることはなく、これはバスに乗ってみるしかないと思い、ジェットコースター並みに勢いよく走るバスに乗ってみたところ、発見!ありました。ちょっとわかりにくいですが、一番左のマークが、「それ」です。やたら甘くて、油っこ

い食文化がこの席を生んだのでは?そう思いました。

バス話題のついでに右の写真。これは、いなかにあるバス停です。屋根しかありません。どこに行く?いつくるの?地元の人のみぞ知る!雰囲気に乗るしかないバスでした。

